

「パワーで簡単にできる自作教材」発表概要

秋田県矢島小学校 高橋 勲 QZF07373@nifty.com
勲ちゃんのデジタル情報室 <http://homepage3.nifty.com/isao-chan/>

1. はじめに

巷のIT研修の問題点は、操作方法の研修に偏っていることである。そのため、せっかく研修した内容を、授業で活用することができない。多くの教師は、ITを活用した授業のイメージが持てないのが現状である。では、どうすればよいか？

明日の授業ですぐに使える「教材づくりの研修」に変えればよい。

教員のIT研修には、「パワーポイント」を利用した教材作りが最適である。

カンタン教材作りに適したソフトの条件

操作が簡単で、短時間でできる。
ソフトが広く普及している。または安い。
自分流に手直し可能。

2. カンタン教材づくりの手順

(1) 原則1 チラッと見せよう - すぐに消す -

オートシェイプの図形を貼り付ける

テキストボックスで数字や文字を入力する

「アニメーションの設定」で「開始」と「終了」の両方にアニメ動作を設定する。

【応用】 漢字の読み・英単語など

(2) 原則2 じらしましょう - ちょっとずつ見せる -

写真や文字を貼り付ける

オートシェイプの「図形」をその上に貼り付ける

「オートシェイプの書式設定で、図形の色を「白」にし、「線なし」にする

アニメーションの設定は、図形の終了を設定するだけ

写真や文字を分割するのではなく、四角形で覆った部分をはがしていく。

(3) 原則3 シルエット - 輪郭のみ見せる -

お絵かきソフトで画像を加工し、貼り付ける。(「バケツ」で黒く着色)

この後、原則2の手法を組み合わせる。

シルエットで提示すると効果的なもの

例) 写真、漢字、ローマ字など

(4) 原則4 色仕掛け - 色で惹きつける -

図形を貼り付ける。

「開始」の設定をする。(フェードとズーム)

「強調」の設定をする。(透過性)

「終了」の設定をする。(フェード)

目的に応じて、いろいろな組み合わせが可能。

例) フロート カラーブレンド フロート